



竹田 英司

バレーボール男子のワールドカップ(W杯)を終えた小野寺太志選手がチームに合流し、Vリーグ開幕を迎えた。JTサンダーズ広島は11月2、3日に福山ローズアリーナで地元開幕戦を戦う。

選手、スタッフの誰もが「優勝したい」と強く思っているが、まだいくつか課題が残っているように思える。「勝ちに不思議の勝ち



今季の必勝祈願をしたJTサンダーズ広島島の選手たち

## ◎ 頂点へ あくなき成長

あり、負けに不思議の負けなし」という言葉があるように、いかなる時も常に課題を的確に捉え、アプローチを続けることが求められる。

マネジャーの私にも同様に役割と責任がある。先日最近の活動を自身で反省していると、井上航選手が声を掛けてきた。「竹田さん、そんな顔をしていたら駄目です。僕が試合でミスして、今の竹田さんみたいな顔をしていますか。チームに悪影響だし、落ち込んで何の意味もないですよ」

確かにその通りだ。最近の航選手は発言に深みが出てきた。「やんちゃな航選手も成長しているな」と感じていると、金子聖輝選手が「竹田さん、もうすぐ僕の誕生日です。何をくれますか」と無邪気に話しかけてきた。さすがはチーム最年少の「かまってモンスター」。空気を読まない発言にイライラさせられることもあるが、その時ばかりは金子選手に癒やされた。

日々葛藤を繰り返しながらも、あくなき成長を求めるわれわれを、皆さまの熱いご声援で後押ししていただきたい。

(JT広島マネジャー)